



バブル化する偽りの一体感

イチローさん、国民栄誉賞を辞退

3月に現役を引退した米大リーグ・マリナーズのイチローさん(45)が、政府が授与を検討していた国民栄誉賞を辞退する意向を伝えたことがわかった。菅義偉官房長官が5日、閣議後の会見で明らかにした。イチローさんは2001年、04年にも辞退しており、今回で3回目。

政府は代理人を通じて内々に打診したが、イチローさんから「人生の幕を下ろした時にいただけるよう励みます」などと辞退する意向を伝えてきたという。菅氏は「本人の気持ちを尊重し、今般の現役引退に伴う(授与の)検討を見送った」と話した。

イチローさんは、94年に日本プロ野球史上初のシーズン2000安打を達成し、同年から7年連続の首位打者。移籍後の04年には、大リーグ新記録となるシーズン262安打を打ち、10年連続で2000安打以上など数々の記録を打ち立てた。日米通算4367安打を打ち、3月21日に引退を表明した。

「私が付度」塚田副大臣辞任へ

本州九州を新たに担当する道路事業の調査をめぐり、安倍晋三首相と麻生太郎副総理兼財務相の意向を一つにまとめた。塚田副大臣が5日、石井啓一国土交通大臣から、石井大臣に辞任を要請された。塚田氏は行方未定の間に後継者に石井大臣が

福岡県知事の応援演説する塚田副大臣(右)と北九州市長

「私が付度」塚田副大臣辞任へ

吉田幹事長が私の顔を見て、「塚田分かってるな、これは総理の地元と副総理の地元の事業なんだよ」と。私、すごく物わかりがいいんです。すぐ付度します。「分かりました」と。そりゃ総理とか副総理がそんなこと言えません。そんなこと実際ないんですよ、森友(学園をめぐる問題)とか、いろいろ言われてますけど。でも私は付度します。この事業を再スタートするには、いったん国で調査を引き取らせて頂く、と。今回の新年度の予算で、国で直轄の調査計画に引き上げました。別に知事に頼まれたからやったわけじゃないですよ。大家意志が湧ってきた、そして私が付度した、ということなんです。おそらく橋を架ける形で調査を進めて、できるだけ早くみなさまのもとに、橋が通るように頑張りたい。

第51515号 【朝日5年朝刊】

「復興より議員大事」発言

首相、桜田五輪相を更迭

4/11 毎日

19/4/05 朝日夕刊

首相と麻生氏の地元で道路計画 「私、すごく物わかりいいんです」

② 図Bは4月5日の朝日新聞夕刊1面トップに掲載された見出し「私が付度」塚田副大臣辞任へ。塚田氏(Bの写真)は財務相の麻生派メンバー。辞任の原因はご存知の通り同日、福岡県知事選の応援で麻生氏が推し自民推薦の新人候補の応援演説で飛び出した付度発言。各紙に発言の抜粋が載っていたが、それにしても「日の丸必勝」の鉢巻きをすると、本音が飛び出し「行け行けドンドン」になるのだろう。そのドンドン部分を以下、記録に留めて置こう。

私は、筋金入りの麻生(副総理)派です…吉田(博美・自民参院)幹事長が、私の顔を見て「塚田分かっているな、これは総理の地元と副総理の地元の事業なんだよ」と。私、すごく物わかりがいいんです。すぐ付度します。「判りました」と。そりゃ総理とか副総理がそんなこと言えません。そんなこと実際ないんですよ、森友(学園をめぐる問題)とか、いろいろ言われてますけど。でも私は付度します。この事業を再スタートするには、いったん国で調査を引き取らせて頂く、と。今回の新年度の予算で、国で直轄の調査計画に引き上げました…。

19/4/05 朝日夕

イチローさんの胸次

① 図Aは、4/5日の朝日夕刊の記事。1面トップの図Bの下段に掲載されていた。読むうちに安倍政権が、辞退2度のイチローさんに「今度こそ受けて下さい」と片思いに走ったように思われた。

イチローさんの胸次(胸中)を付度する前に付度したのだろう。上から下まで付度付度。かつて阪急ブレーブスで日本の盗塁王となり、大リーグ記録も越えた福本豊さんは、国民栄誉賞授賞の話に「そんなものを貰ったら、立ち小便もできなくなる」と断った。酒や麻雀が好きだったという福本さんの断り方を、すごい人がいるものだと感嘆したものだ。

それから30年余、イチローさんは「人生の幕を下ろした時に頂けるよう励みます」と断つたらしい。紙背の心は「もう私を構わないで」と読める。

③ 図Cは4/11日の毎日朝刊。何かと問題発言が多い桜田義孝五輪担当相(衆院千葉8区・二階派)が前夜、高橋比奈子衆院議員(比例代表東北ブロック・麻生派)のパーティーで話した結末。五輪では「世界中の人が高橋議員の地元岩手県にも訪れるだろう。おもてなしの心を持って →次頁へ

大江健三郎氏が指摘した「偽りの一体感」

前頁より) 復興に協力して欲しい」。そこまではよかったが、最後に「復興以上に大事なのは高橋さんなのでよろしくお願いします」と語ったという。

④ 図Dを見ると、桜田氏は口が滑ったというより、話すうちに自分の言葉に酔い、次々に言葉が飛び出す言語奔逸的な性格なのではなかろうか。安倍首相もはぐらかした答弁や、大臣席から野党にヤジを飛ばすなど言語奔逸的な言動が見える。

⑤ 図Eは、過去のメモや新聞報道などから安倍内閣の閣僚不祥事辞任をリストアップした。自殺を含め13件に達し余りにも多い。欠落があればご指摘頂きたい。

⑥ 図Fは、第1次安倍政権誕生から半年後の翌2007年3月号に書いたコラムです。大江健三郎氏の外国特派員協会での講演を基に当時の状況を記した。安倍政権は夏の参院選で敗北、9月に崩壊する。読み返しながら現在の状況が、12年前の春と酷似していることに驚いた。報道によれば政府内では、記録を1年で破棄する隠ぺい政治を始めているらしい。偽りの一体感を吹き飛ばす自由闊達な日本でありたい。

図D 桜田氏の「失言」集

- ▼ 2018年11月5日 19/4/11毎日
参院予算委員会で、2020年東京五輪・パラリンピックを巡る政府の直接支出額を「1500円」と言い間違え、「1500億円」「1725億円」と次々に訂正
- ▼ 同6日
参院予算委での立憲民主党の運動船氏の質問に関して「通告なしで質問する方がいた」。実際は事前に通告されていたと判明
- ▼ 同5、9両日
同委や記者会見で運動船氏の名前を「れんぼう」と言い間違える
- ▼ 同14日
衆院内閣委でサイバーセキュリティー担当としてパソコンを使っているかを問われ「自分でパソコンを打つことはない」。21日には「(発言が海外で報道され)いか悪いかは別として、有名になった」
- ▼ 19年2月12日
競泳の池江璃花子選手の白血病公表に「本当にがっかりしている」
- ▼ 同13日
衆院予算委で五輪憲章を読んでいるかと問われ「話には聞いているが、自分では読んでいない」
- ▼ 同21日
衆院予算委に約3分遅刻し「ちょっと間違ってしまった」。野党の反発で審議が約5時間中断
- ▼ 3月24日
千葉県で、東日本大震災の津波に関して「まだ国道とか交通、東北自動車道も健全に動いていたから良かった」と事実誤認
- ▼ 4月9日
参院内閣委で宮城県石巻市を「いしまし」と3回言い間違える
- ▼ 同10日
自民党の高橋比奈子衆議議員のパーティーで「(震災)復興以上に大事なのは高橋さんだ」

図E 安倍内閣の閣僚不祥事辞任

年/月	第1次内閣
06/12	佐田玄一郎行革担当相 政治団体の事務所経費問題
07/05	松岡利勝農相 事務所ですう何とかの水問題から自殺
07/07	久間章生防衛相 「原爆投下しようがない」発言
07/08	赤城徳彦農相 事務所費問題から顔にばんそうこう貼り会見
07/09	遠藤武彦農相 補助金不正受給問題
07/09	安倍晋三首相 健康問題を理由に政権を放棄
第2次内閣	
14/10	小淵優子経産相 政治資金支出問題 松島みどり法相 うちわ配布問題
第3次内閣	
15/02	西川公也農相 企業献金問題
16/01	甘利明経済再生相 建設会社からの金銭授受問題
17/04	今村雅弘復興相 東日本大震災が「まだ東北でよかった」発言
17/07	今田朋美防衛相 南スーダンPKO部隊の日報隠ぺい問題
第4次内閣	
19/04	桜田義孝五輪担当相
計13人 (注:18/02月、病氣辞任の江崎鉄磨沖繩・北方相を除く。下コラムの柳沢厚労相は辞任しなかった)	

図F 二半年後の昨秋、「美しい国」を掲げ登場した安倍総理も会話体を継承した。

「それが深刻な問題になっているのは、「会話体は散漫でまとまりがなく、たとえ合意出来なくても、あとで言い直したり引き下げたり出来るなど、書き言葉の厳密さや論理性がない」からだ。

政治の世界の文体にもそれが波及し、「中身の無い構造改革という公約や発言が(小泉内閣の)支持率を支え、首相を中心に偽りの一体感が形成されている」と。

「ベル賞作家の大江健三郎さんが二〇〇四年三月、東京の外国特派員協会で「日本人の自己表現の文体」と題して講演をした。

当時の新聞が伝えた講演の要旨は、「日本の文化が、テレビのトークショーや座談会などの会話体の表現に支配され、書き言葉の比重が質量ともに落ちてきている」。

それが深刻な問題になっているのは、「会話体は散漫でまとまりがなく、たとえ合意出来なくても、あとで言い直したり引き下げたり出来るなど、書き言葉の厳密さや論理性がない」からだ。

濁水清淵 | バブル化する偽りの一体感

「女性性は産む機械」発言。米
国メディアは、「産む機械も有権者。大臣は謝罪に追い込まれた」と伝えたという。

大江さんの指摘通り、論理性のない会話体依存の悲劇だが、謝罪の判断基準も、夏の参院選を前提にした損得計算に終始している。

安倍首相が多弁に語れば語るほど、偽りの一体感がバブル化し、はじける可能性が増しつつあるようだ。(宏)

所信表明演説で片仮名語を多用し、国民に向かい「私の内閣では…」を連発。労働基準法改正案に「ホワイトカラー・エグゼンプション」制度の導入を図った。

早速、内閣の私物化を感じさせるような言葉をあざけつた、「内閣をワタシノと言う安倍総理」の投稿川柳が、新聞に掲載された。CM的な響きの法案は、「残業代ピンハネ法案」の批判の嵐に遭い提出を断念する。

極めつきは、柳沢厚労相の「女性性は産む機械」発言。米